

提出用



産業廃棄物処理計画実施状況報告書等提出シート

下記 1 の書類について、別添のとおり提出します。

記

1 提出書類 ＜該当を選択＞	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画書 (PDF・書類 1部) <input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF・書類 部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画書 (PDF・書類 部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF・書類 部)
2 提出者	(住所) 〒590-0903 大阪府堺市堺区松屋町1丁目6-7 (名称・代表者氏名) 山九(株)関西支店 支店長 宮崎 隆幸
3 対象事業場	(所在地) 〒660-0805 尼崎市西長洲町1丁目2-16 (名称) 尼崎プレスベント鋼管工場解体現場 (事業場コード(6桁)) 200265
4 事業場データ (報告データ)	(業種コード(4桁)) 0600 (業種名) 総合工事業 (フレーム:完成工事高) 330 百万円 (廃棄物発生場所地域名) <該当地域に○印をしてください。>※ 11 神戸市、12 尼崎市、13 姫路市、14 西宮市、 21 阪神南、22 阪神北、23 東播磨、24 北播磨、25 中播磨、26 西播磨、 27 但馬、28 丹波、29 淡路 ※ 地域は政令市・県民局単位。複数地域にまたがる場合、第2面は地域ごとに作成ください。
5 ご担当者	(所属) 安全環境グループ (氏名) 行久 達也 (電話) 072-238-3851 (FAX) 072-232-0454 (E-mail) t.yukuhisa@sankyu.co.jp

(建設)

本用紙は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第11項及び第12条の2第12項で定める公表対象の様式ではありませんので、同法により公表することはありません。

ただし、別添の様式はすべて公表されますので、別添の様式中に個人情報等を記載しないようご注意ください。

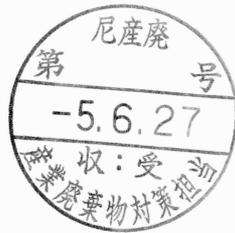
（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 27日

尼崎市長 殿

提出者



住所 大阪府堺市堺区松屋町1丁6-7

氏名 山九株式会社 関西支店
支店長 宮崎 隆幸

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

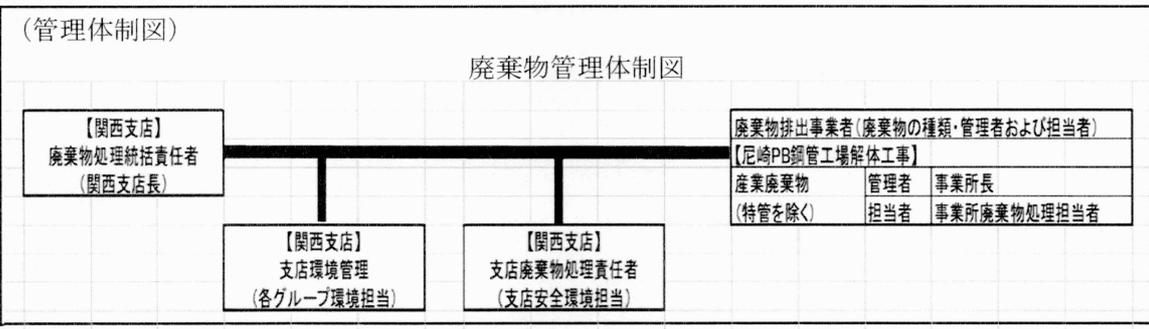
電話番号 072-238-3941

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山九株式会社関西支店 尼崎プレスベント鋼管工場解体現場
事業場の所在地	尼崎市西長洲町1丁目2-16
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	330 百万円 （完成工事高）
③従業員数	当該工事社員数 3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>建設工事に伴う廃棄物の処理</p> <p>1) 0300廃油：油水分離、沈殿分離後脱水固化</p> <p>2) 0800木くず：粉碎後、原料チップ・燃料チップへ再生</p> <p>3) 1500がれき類：中間処分業者にて破碎・選別後、再生骨材として再資源化</p> <p>4) 2200管理型混合廃棄物：中間処理業者にて破碎・選別→最終処分先にて再生品売却</p> <p>5) 2440がれき類（石綿含有廃棄物）：最終処分業者にて埋立処分</p>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) 本工事は、休止設備の解体であるため、産業廃棄物の抑制は難しく、着工時の計画通りの排出となった。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) 当社としては、再利用他、産業廃棄物の削減に努めてまいります。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート破片、がれき類、木くず、建設系混合廃棄物（管理型）等、分類し保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度の管理に同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	t
(今後実施する予定の取組) 予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 0300廃油、0800木くず、1500がれき類、2200管理型混合廃棄物については、優良認定処理業者へ処理委託している。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度の取り組みの継続実施		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合廃棄物	2440がれき類（石綿含有産業廃棄物）	合計
排出量	22.8 t	61.0 t	406.0 t	46.5 t	618.6 t	1154.9 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合廃棄物	2440がれき類（石綿含有産業廃棄物）	合計
排出量	0 t	0 t	100.00 t	10.00 t	1000 t	1110 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合廃棄物	2440がれき類（石綿含有産業廃棄物）	合計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合廃棄物	2440がれき類（石綿含有産業廃棄物）	合計
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合廃棄物	2440がれき類（石綿含有産業廃棄物）	合計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合廃棄物	2440がれき類（石綿含有産業廃棄物）	合計
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合廃棄物	2440がれき類（石綿含有産業廃棄物）	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合 廃棄物	2440がれき類（石綿 含有産業廃棄物）	合計
自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行う産業廃 棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合 廃棄物	2440がれき類（石綿 含有産業廃棄物）	合計
全処理委託量	22.8 t	61.0 t	406.0 t	46.5 t	618.6 t	1154.9 t
優良認定処理業者へ の処理委託量	14.7 t	61.0 t	406.0 t	34.0 t	0 t	515.7 t
再生利用業者への処 理委託量	14.7 t	61.0 t	406.0 t	46.5 t	0 t	528.2 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0300廃油	0800木くず	1500がれき類	2200管理型混合 廃棄物	2440がれき類（石綿 含有産業廃棄物）	合計
全処理委託量	0 t	0 t	100.0 t	10.0 t	1000.0 t	1110.0 t
優良認定処理業者へ の処理委託量	0 t	0 t	100.0 t	10.0 t	0 t	110.0 t
再生利用業者への処 理委託量	0 t	0 t	100.0 t	10.0 t	0 t	110.0 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t